

2011・12・14 開会

第4回町議会定例会



平成23年第4回町議会定例会が、12月14日に開会され、18日に閉会しました。

この町議会定例会では、白井町長の行政報告のあと、一般質問のほか、条例の制定や一般会計補正予算など、議案12件、諮問1件、承認1件、発議6件について審議しました。

おもな内容については、次のとおりです。

算の歳入歳出それぞれ一億六百六十九万八千円が追加され、予算総額四十四億六百七十七万一千円となりました。

補正のおもなものは、歳入に地方特例交付金、道補助金の追加など、歳出は、後期高齢者医療療養給付費負担金、病院事業会計繰出金などの追加です。

◆一般会計補正予算(第十号)

平成二十三年一般会計予算の歳入歳出それぞれ百万三千円が追加され、予算総額四十四億七百七十七万四千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が財政調整基金繰入金の追加、歳出は、防火水槽修理等の追加です。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)

平成二十三年後期高齢者医療特別会計の歳入歳出それぞれ八十八万円が追加され、予算総額九千九百三十二千円となりました。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第三号)

平成二十三年国民健康保険特別会計の歳入歳出それぞれ一千万一千円が追加され、予算総額十億八千七百九十八万円となりました。

◆介護保険特別会計補正予算(第二号)

平成二十三年介護保険特別会計の歳入歳出それぞれ三千六百九十七万円が追加され、予算総額七億四千二百四十七千円となりました。

◆公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)

平成二十三年公共下水道事業特別会計の歳入歳出それぞれ二百三十四万八千円が追加され、予算総額三億一千二百七十四万八千円となりました。

◆ガス事業会計補正予算(第二号)

平成二十三年ガス事業会計の収益的収入が八万九千円

◆一般会計補正予算(第八号) (専決処分)

平成二十三年一般会計予算の歳入歳出それぞれ二十四万円が追加され、予算総額四十三億七十三千円となりました。

補正は、防火水槽補給用バルブ修理に係る費用の追加です。

◆長万部町債権管理条例

町の債権の適正な管理を期するため、その管理に関する事務処理について、必要な措置を講ずるべく、長万部町債権管理条例が制定されました。

◆長万部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険制度の適正な運営を図り、保険税の必要な財源を維持するため、国民健

康保険税条例の一部が改正されました。

◆長万部町都市公園条例の一部を改正する条例

長万部公園を都市公園として設置することに伴い、都市公園条例の一部が改正されました。

◆一般会計補正予算(第九号)

平成二十三年一般会計予

減額され、収益的収入の予算総額九千三百五十九万一千円、収益的支出が三十七万円減額され、収益的支出の予算総額一億七千九百八十七万円となりました。

◆水道事業会計補正予算

(第二号)

平成二十三年水道事業会計の収益的収入が十一万四千円減額され、収益的収入の予算総額一億四千六百七万二千円、収益的支出が四百一十一万四千円減額され、収益的支出の予算総額一億四千二百七十四万五千円となりました。

また、資本的支出に二十七万八千円が追加され、資本的支出の予算総額四千九百二十九万九千円となりました。

◆病院事業会計補正予算

(第二号)

平成二十三年病院事業会計の収益的収入に五百八十万六千円が追加され、収益的収入の予算総額六億四千六百一十九万九千円、収益的支出に百六十三万六千円が追加され、収益的支出の予算総額六億六千

百五十五万九千円となりました。

◆人権擁護委員の推薦について

任期満了に伴い、新たな人権擁護委員に石垣聖子氏が選任されました。

意見書案(可決)

◎消費税率と年金受給年齢の引き上げに関する意見書

◎国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

◎視覚障害者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書

◎防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

◎義務教育費国庫負担制度堅持・負担率二分の一への復元、「三十人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など二〇二二年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

意見書案(否決)

◎泊原子力発電所一・二号機の再稼働反対とプルサーマル計画中止を求める意見書

白井町長の 行政報告

＝平成23年12月14日＝



第四回町議会定例会にあたり、この一年間町政各般にわたり、議員各位から賜りました温かいご指導・ご協力に對しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

全国的には、三月十一日に発生した東日本大震災や九月に四国地方に上陸した台風十二号による水害等、数多くの災害が日本各地に甚大な被害をもたらしました。

犠牲となられたみなさまに、改めまして深く哀悼の意を表するとともに、被災された方、そのご家族・関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます、一日も早い復旧・復興を願ってやみません。

さて、今日の社会情勢は、国においては、TPP協定交渉への関係国との協議入りや基地問題をはじめとする経済・外交課題、災害復旧復興対策、更には雇用問題など課題が多く、国策が明確に見えづらく不透明な状況となっております。

一方、地方におきましては、低迷する経済の影響を受け、財政事情は極めて厳しく、それぞれ自治体では、この苦難を乗り越えるための行財政

運営が求められている所であります。

本町におきましても、厳しい財政状況ではありますが、計画させていただきまして各種施策や事業等につきましては、みなさんのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。

ここに、改めて感謝申し上げますとともに、引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めて参りますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、行政の執行等について、ご報告いたします。

長万部町債権 管理条例

町が保有する債権は多岐に及び、その債権回収は所管各課がそれぞれ執行しておりますが、債権の性質・取扱いや対応が様々であり、年々未収債権が増加する傾向にあります。

このような状況から、債権の適正な管理を期するため、その管理に関する事務処理について、必要な措置を講ずる

べく、本定例会に長万部町債権管理条例を提案いたしております。

国民健康保険税 条例の一部改正

本町の国民健康保険税は渡島管内で比較すると低く、医療費はトップクラスの高い状況にあります。

国民健康保険特別会計の運営を維持するためには、予防等による医療費の抑制はもちろんでありますが、保険税により必要な財源を確保し、国民健康保険制度の適正な運営を図るため、本定例会に国民健康保険税条例の一部改正を提案いたしております。

北海道 新幹線関係

北海道新幹線の札幌延伸を含む未着工区間の取扱いについては、国の予算における概算要求はまだ白紙のままですが、年末の来年度予算確定期をにらみ、十一月九日・十日の二日間にわたり、民主党陳

情要請対応本部と国土交通省や関係国会議員に対し、長万部町と八雲町合同による要望活動を行い、北海道新幹線札幌延伸の早期認可・着工により、国土軸の一体化を目指して欲しいとの要望を訴えて参りました。

要望の対応の中では、あとは財源見通しの目処と沿線自治体の並行在来線の経営分離の同意が得られる見込みがあるかどうかについてが、認可・着工へ進むための重要な条件となっている状況であることを伝えられております。

このような中、十一月十七



日には北海道新幹線渡島沿線自治体首長会議が開催され、北海道新幹線新函館駅開業に伴い、ＪＲ北海道から経営分離されることとなる江差線（五稜郭・木古内間 三十七・八キロメートル）について、十月三十一日北海道が函館市、北斗市、木古内町に対し、地域交通の確保方策等を示し協議した内容について報告されました。しかし、北海道が提示したバス転換や公共負担割合への反発がとて強い状況であり、当町としても、今後は札幌延伸に支障を来たさぬよう、早急に北海道が責任を持つて沿線自治体が納得できる対応をするよう要請しております。

公式キャラクター 「まんべくん」について

「まんべくん」の活動は、本年八月十四日、商標「まんべくん」使用許可先の戦争についてのツイッター発言に対し、町のキャラクターとして不適切であるなどの多くの抗議やお叱りの電話、メール等が寄せられました。



町としては、公式見解ではありませんでしたが、管理監督が不十分であったという判断のもと、八月十六日をもって、「まんべくん」の全ての活動を休止いたしました。

その後、商工観光団体等と意見交換を行いながら、再開について話し合いをして参りましたが、早期再開を希望する意見が多く、また、商工観光振興やＰＲ活動に有効であると判断し、活動休止後三か月を経過した十一月十六日に活動を再開いたしました。

今後関係団体と協議を続けながら、より実効性がある

「まんべくん」の活動を検討して参ります。

高齢者 福祉関係

地域敬老会につきましては、八月二十八日を皮切りに二十六地域二十四会場で実施されました。対象者一千二百九十五人に対し六百九十九人の出席をいただき、出席率は約五十四パーセントとなっております。

各会場とも、町内会等のみなさんによる特色ある料理や趣向を凝らした催しなどにより、出席された方々から大変喜ばれておりました。

今後町内会等のみなさんには、ご苦勞をおかけしますが、高齢者の集まる場の一つとして続けていただきたいと考えております。

また、十月二十七日にはファミリースポーツセンターにおいて、老人クラブ運動会が、日頃の運動不足の解消と会員の協調、親睦の輪を広げることが目的に十三クラブ百三十七人の参加で開催されました。そのほか、老人福祉センター

の利用促進や高齢者の健康増進のため、老人福祉センターの利用優待券を老人クラブによる美化清掃活動のお礼やいきいき大学・老人クラブ運動会の参加賞などとして配付いたしております。



生活環境関係

町民のみなさんのご協力のもと、本年四月から十月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は約一千百九

トンで、前年同期と比較し約二十五トン減少いたしました。また、ごみ減量化の一つとして実施した衣類の無料回収は、長万部町地域女性団体連絡協議会のご協力をいただき五月・七月・十一月に実施し、二百四十二キログラムの衣類を回収いたしました。次回は、来年二月を予定しております。また、廃食用油の無料回収は、役場・福祉センター・各会館のごみステーションに回収ボックスを設置し、今年一月から現在までに七百二リットルを回収いたしました。今後もごみの減量化・リサイクルに、みなさんのご協力をお願いいたします。

農業関係

家畜の主たる飼料作物であります牧草やサイレージ用トウモロコシの生育状況は、春先からの低温や日照不足により生育不良や収量の減少が懸念されましたが、十月十五日の生育調査では、おおむね平年並みの収量となっております。

す。

生乳生産量は、四月から十一月まで七千二百六十四トンを出荷し、前年に比べ六・五パーセントの減となっております。

また、乳代は五億五千百九十六万八千円で、前年に比べ三・五パーセントの減となっております。

これらの要因としては、昨年の猛暑により、乳牛の分娩時期が遅れたことによるものと思われます。

黒毛和牛の四月から十一月までの販売頭数は、二百四十一頭、販売金額は八千五百十



六万二千円となっております、前年同期と比較して販売頭数で六頭の増となっております。

販売金額は二百四十四万九千円の増となっておりますが、米国産牛肉の輸入緩和や大手牧場の経営破綻など、畜産をめぐる環境は大きく変化していることから、今後、供給過剰による値崩れが懸念される状況にあります。

牧野関係については、生産コストの低減と酪農経営の安定のため公共牧場運営事業を実施しておりますが、今年は平年と比べ雪融けが遅く、入牧は、五月六日より順次開始し、十月二十八日に下牧しております。

この間の入牧延べ頭数は七万四千九百八十七頭となり、草地整備改良の実施に伴う放牧面積の減少により、前年に比べ二・一パーセントの減となっております。

緊急雇用創出推進事業で実施した公共牧場の障害雑草抜根事業につきましては、作業員三名を雇用し約二トンの障害雑草の除去を行い、十月三十一日に終了しております。

また、農業用排水路現況調査事業につきましても、作業

(有料広告)



社団法人全日本不動産協会員 北海道知事免許【渡(1)第1136号】

株式会社 佐々木建業

長万部町字平里99-25

TEL 01377-2-4555 FAX 01377-2-5869

●土地 ●建物 ●売買 ●賃借 ●仲介代理 ●一般建築 ●屋根板金

売りたい方、買いたい方、
不動産のことならお任せください！

員五名を雇用し、町内三地区の農業用排水路の堆積物除去を行い、十月五日に終了しております。

平成二十年度から五か年計画で実施しております農業経営基盤整備事業については、道の単独上乘せ補助がある道営草地整備改良事業が、十月三十一日で本年度の工事を終了しております。

林業関係

町有林一般造林事業につきましては、豊津及び蔵岱地区で除間伐十九・一五ヘクタールを実施し、十一月十日に完了しております。

また、森林整備加速化・林業再生事業の補助対象として採択された富野・平里地区町有林の除間伐事業四十・〇四ヘクタールは、三月中旬の完了予定で事業着手しております。

森林農地整備センター分収造林事業では、豊津（二）契約地にかかる作業道修繕工事二千九百五十メートルを実施し、十月二十五日に完了して

おります。

緊急雇用創出推進事業補助金の対象事業であります町有林環境調査整備事業は、十一月三十日に完了しております。

道営事業の森林基幹道豊津・黒岩線の本年度の林道整備事業は、車道整備延長九百九十メートルを十月二十日に完了しております。

また、北海道が事業主体で実施しております町有林「とみの森」共生保安林整備事業につきましては、植栽や本数調整伐等の林相改良事業並びに管理歩道の整備に着手し、来年一月下旬の完成予定で進められております。

漁業関係

本町のホタテ貝養殖漁業における十一月末現在の種苗生育状況は、町単独事業のホタテ種苗緊急対策事業において、管外より移入された種苗の状況は、へい死・変形等が少なく、比較的良好に推移しております。函館水産試験場等関係機関による調査結果では、へい死が最も多い時期は、乗り越



えたとのことであります。

しかし、種苗の成長速度が例年より若干遅くなっておりますので、耳吊り作業が開始される来年二月頃まで引き続き各関係機関が連携し、調査を行う予定となっております。

これからホタテ貝出荷の最盛期を迎える時期であります。水産廃棄物リサイクル施設の管理運営につきましては、現在、順調に全量処理を行っております。

また、水産副産物処理施設整備基本計画に基づく最終処理場に対する補助及び交付金等については、継続して渡島

総合振興局等、関係機関との協議を行っておりますが、東日本大震災の復興財源課題もあり、現状では、補助事業等の採択は、非常に難しい状況にあります。基幹産業でありますホタテ貝養殖漁業を継続・発展させるために、今後も、長万部漁業協同組合をはじめ各関係機関や研究機関と連携を密にし、施設の適正な管理運営を図って参ります。

本年の秋鮭は、十一月二十二日現在、漁獲量は約四百六十七トンで、前年に比べ約二百六十五トンの減となっております。漁獲金額も約二億九百三十万円で、前年に比べ約二千三百九十万円の減少となっております。

水産基盤整備事業

磯資源増大を図るため、四か年計画で進めておりました静狩地区ウニ二囲い礁の整備事業は、最終年次である本年度も大割石の投入を行い、予定どおり八月末に完了いたしました。

東日本大震災による災害復旧事業関係

三月十一日に発生した東日本大震災の津波により被災した当町のホタテ貝養殖施設等の復旧状況は、長万部漁業協同組合によりますと、十一月末現在で、約九十パーセントのことであり、今後も資材の入荷があり次第、随時復旧作業を行い、十二月末の完了予定で進められております。

この復旧については、北海道が事業主体となり養殖施設災害復旧事業として実施することとなりますが、国による災害査定が十一月二十八・二十九日に行われており、現在、国からの補助内示待ちの状況であります。

また、破損したホタテ貝養殖施設等の瓦礫につきましても、同じく、災害復旧事業であります。この事業主体は長万部町で、町内の一般廃棄物運搬許可業者により俱知安町内の管理型最終処分場へ運搬し、十二月二十六日の完了予定で、廃棄物の適正な処理、処分を進めております。

また、漁港内で破損した機

器等の災害復旧事業関係では、長万部漁業協同組合が事業主体となり、北海道の単独事業であります地域づくり総合交付金事業として申請しております。また大中漁港に配備されている電動フォークリフトの修繕費に対する補助内示を受けております。

更に、農林水産業共同利用施設災害復旧事業として申請しております。国縫漁港内荷捌所附帯設備の製氷機に対する修繕費も同じく補助内示を受けましたので、本定例会に補正予算を提案いたしております。

商工観光関係

中小企業を取り巻く環境は、震災による影響も受け、依然厳しい状況にあります。

中小企業の健全な育成と経営安定のため、中小企業に対する国の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町が窓口となり認定等を行っております。

次に、本年度の上期観光客入り込み数は、震災による影

響で四月から六月には、前年度を大きく下回る状況となっております。また、「まんべく」効果や駅前観光案内所を開設し、情報の発信を積極的に行ったことなどの要因により、七月以降は前年を上回る状況となり、全体としては前年度に比べ二・二パーセントの減少で約三十一万九千人となっております。

労政関係

本年度においても、季節労働者の支援のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、季節労働者の雇用相談や求人情報の提供、技能研修を通じた通年雇用支援を行っております。

消費者相談関係

近年、様々な新しい手口による悪質商法や振り込め詐欺、商品事故などの消費者問題が多発しております。町としては、消費者の

安全確保に係る苦情相談や必要な情報の収集及び提供を行うため、消費生活相談員を配置しております。

今後、更に、巧妙化が予想される悪質商法等の手口に対し、その対応が必要とされる中、町広報紙による消費者の安全確保に関する情報周知を行い、併せて、地区老人クラブ等での「消費者生活安全講習会」の開催を通じ、消費者生活知識の啓発に努めて参ります。

建設事業

建築事業では、双葉振興会館の外壁及び構造材等の腐食による改修工事を施行し、十一月二十九日に完了しております。

また、各公共施設や公営住宅の修繕工事は、計画どおり発注し、順次完了しております。

次に、土木事業では、きめ細かな交付金事業において施工しております町道学苑通線道路改良舗装工事は、九月二十日に完了しております。

また、降雨時の排水環境を改善する町道中山大通線排水管整備工事は九月二十日に完了しております。

六月に町道認定した町道新開十三号線は、道路改良舗装工事を三月二十九日の工期で施工中であります。

また、道路維持整備においては、町道の舗装補修、側溝補修整備、下水路清掃等を計画的に実施しております。

災害復旧事業では、昨年の十月三日から四日にかけての豪雨により被災した知来川の三か所の内、残る一か所の災害復旧工事について、十二月二十日の工期で施工中であります。

公園事業

本年度の長万部公園キャンプ場利用状況は、キャンプ場利用者一千七十一人で、昨年比べ八・八パーセントの減となっております。

バンガロー利用棟数は二百五十棟で、昨年比べ三・七パーセントの増となっております。



入居者募集

(有料広告)

●●●●● 御相談に応じます ●●●●●

正 堀川アパート

☎ 01377-2-2377 携帯 090-4872-6235

ストーブ・ベッド・その他完備、駐車場完備、敷金なし
月額 23,000円から43,000円まで

また、あやめ公園パークゴルフ場利用者は七千五百十六人で、昨年に比べ九・九パーセントの減となっております。

次に、公園施設長寿命化計画策定による施設の計画的予防修繕を国費補助により実施可能な対象公園とするため、新たに都市公園として長万部公園を設置することに伴い、本定例会に長万部町都市公園条例の一部改正を提案いたしております。

公共下水道事業

公共下水道汚水管路清掃業務は、九月三十日に業務を完了しております。

また、終末処理場汚水貯留槽攪拌機外修繕工事は、一月二十日、大浜第二中継ポンプ場ポンプ改修工事は、二月二十日の工期で施工中であります。



ガス事業

ガス支管改良工事の第二工区(大町)、第三工区(南栄町)は、十二月五日に工事を完了しております。

ガス料金認可変更は、九月二十日に認可となり査定後の最終改定率は、平均単価で二十五・七パーセントとなっております。なお、料金改定は、十月一日から実施しております。

水道事業

町道新開十三号線給水本管整備工事は、十二月二十日の工期で施工中であります。

消防関係

十月十五日から三十一日までの秋の全道火災予防運動期間中、火災から尊い人命と財産を守るため、町内の一般家庭への防火点検と、福祉施設

や不特定多数の者が出入りする建物への査察を行い、避難等の防火管理体制と消防用設備の適正な維持管理について検査を行いました。

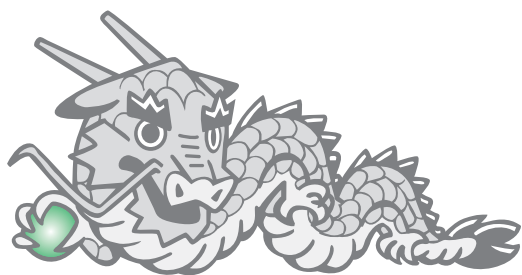
また、全ての住宅に設置が義務付けられました住宅用火災警報器について、複数の設置が必要である世帯もあることから、防火点検時の指導や町広報紙で設置促進について啓発をして参りました。

今後も更なる啓発活動を推進して参ります。

今年の火災発生状況は、十一月末現在まで建物火災は三件、自動車火災が一件発生しております。

救急業務につきましては、今年一月から十一月末現在までの出動件数は、三百三件、搬送人数は二百九十九人となっております。昨年同期と比較し出動件数で二十四件、搬送人数で十二人と共に減少しております。

また、救急処置の高度化に対応するため、計画的に救急救命士を養成しており、現在、職員一名を救命士養成所へ派遣しております。



(有料広告)

*給湯機器 *水洗トイレ *ユニットバス *キッチン *暖房機
*換気扇の取替工事、点検整備ご相談下さい。

(株)光設備サービス

代表取締役 佐々木 秀 光

長万部町高砂町411-345 TEL (2) 3937 FAX (6) 9009

